

ご案内

吉祥院図書館では、TEENS 便りに特集してほしい内容やお薦めの本の紹介文、表紙イラストなどを募集しております。

図書館内の TEENS コーナーにポストと応募用紙を設置しておりますので、是非ご参加下さい。なお、ご応募いただいた紹介文やイラストの返却は出来かねますので、よろしくお願いいたします。

2017年(平成29年)12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2018年(平成30年)1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2018年(平成30年)2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

行事予定

- テーマ展示
12月 クリスマス
1月 犬
2月 スイーツ・恋愛小説
- 赤ちゃん絵本の会 12/18 12/25 1/15
1/29 2/19 2/26
- おたのしみ会 12/23 1/27 2/24
- ブックリサイクル 1/15~1/22

*無くなり次第終了です。

※1/30~2/8は、システム機器の更新作業のため休館します。

TEENS便り



冬号のイラストは、かづきさんの作品です！ありがとうございました。

吉祥院図書館

2017年 冬号 NO. 14

住所：〒601-8349 京都市南区吉祥院池田町1 電話：681-1281

開館日：月・木 9:30~19:00 水・金・土・日・祝 9:30~17:00

休館日：毎週火曜日(火曜が祝日の時はその翌平日) 年末年始(12/29~1/4)

URL：<http://www2.kyotocitylib.jp/>

秋が終わって季節は寒～い冬本番！みなさまいかがお過ごしでしょうか。
今回のTEENS便り、まずは・・・

“塔南高校図書委員おすすめの本”特集！



←この看板が
目印です。

テーマは“泣ける”です！

塔南高校図書委員の中から有志の方に集まっていただき、テーマ決めから選書、飾りつけなどを
して、塔南高校図書委員おすすめの本棚を館内に完成させました。感動・失恋・友情など、
様々な内容の本を揃えて展示しております。(2018年3月末までの展示予定)

●塔南高校図書委員おすすめの本をピックアップ!!!●

○『ナラタージュ』(島本 理生/著 角川書店)

大学2年生の泉の元に、高校時代片思いをしていた恩師葉山先生から突然の電話。かつて
所属していた演劇部の卒業公演に出演してほしいという連絡がきっかけで、旧友や葉山先
生などとの、人と人が織りなす関係が読みどころ。好きになってしまった者の強さや弱
さが痛々しいほど心に響く…そんな切なさに涙がポロリ。映画化もされた小説です。

○『神様のカルテ』1,2,3,0巻(夏川 草介/著 小学館)

信州は松本にある地方病院が小説の舞台。若手医師が奮闘するこのお話には、激務とされ
る医療現場の大変さや、患者さんとの心の触れ合いがうまく描写されています。出会いや
別れ、友情などのシーンに涙する人もいるであろう一冊。生きる元気が湧いてきます！

○『かくかくしかじか』1~4巻(東村 アキコ 集英社)

笑って泣ける自伝的漫画！宮崎でマンガ家になることを夢見ていた明子が、売れっ子漫画
家になるまでの道のりを、恩師日高先生の思い出とともにつづったコミックエッセーです。

その他・・・

『君の臍臓をたべたい』(住野 よる/著 双葉社)

『世界から猫が消えたなら』(川村 元気/著 小学館)

『サヨナライツカ』(辻 仁成/著 世界文化社)

『夜のピクニック』(恩田 陸/著 新潮社)

『八日目の蝉』(角田 光代/著 中央公論新社)

『ラジオ・キス』(白倉 由美/著 講談社)・・・など

他にもさまざまな本を、高校生がおすすめしています！



*きよしさんのイラストです。

☆館内ではおすすめ本のリストも置いています。
展示本が貸出中の場合は、ご予約できます！

さて、続いては京都市図書館

5館の合同企画！各館から一冊ずつ

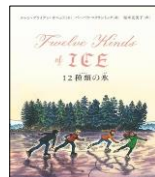
冬にぴったりな、おすすめの本をご紹介します。

テーマは・・・
冬

●司書おすすめの本をご紹介します！●



○『12種類の氷』(エレン・ブライアン・オベッド/文 バーバラ・マクリントック/ 絵 福本 友美子/訳 ほるぷ出版)



ある日、薄い氷が見つかり、氷とともに冬が深まっていきます。大自然
の中で、自由に滑るスケート。ブライアン一家を通して、冬を楽しむ、
心おどる体験を。(右京中央図書館)

○『星の王子さま』(サン＝テグジュペリ/作 内藤 濯/訳 岩波書店)

ぼくは、砂漠で星の王子さまと出会い、大切なことを話します。
そして、王子さまは、たった一輪の花との約束を果たすために、
ふるさとの星に帰っていきました。冬の夜空を見ながら、星の
王子さまを探してみませんか？(久世ふれあいセンター図書館)



○『和菓子のアン』(坂木 司/著 光文社)



進路も決まらないまま高校を卒業した梅本杏子は、少しポッチャリした
18歳。たまたま入ったデパートで見つけた和菓子店「みつ屋」でアル
バイトを始める。個性的な店長や同僚との忙しい日々の中、お客様から
ちょっとした“ミステリー”が持ち込まれる。きっとあなたも、暖かい
コタツで大きな大福餅を食べたくなりますよ！(西京図書館)

○『雪は天からの手紙 中谷宇吉郎エッセイ集』(中谷 宇吉郎/著 池内 了/編 岩波書店)

寒い冬に空からふわりふわりと舞い降りてくる雪。雪は空からの
手紙という詩情あふれるタイトルに心を惹かれる。雪博士・中谷
宇吉郎のあたたかいまなざしをじっくりあじわいたい、雪の結晶
のような珠玉のエッセイ集。(洛西図書館)



○『紙コップのオリオン』(市川 朔久子/著 講談社)



創立記念行事の実行委員になった中学二年生の論理。提案した“冬の星
座をキャンドルナイトで校庭に描く”という企画が決定！星と星を繋い
で星座の形を見出すように、人と人との繋がりを考えさせられる一冊で
す。(吉祥院図書館)

